

(仮訳)

プレス・リリース

2022年2月16日

金融安定理事会は、グローバルな金融安定に対する暗号資産による新たなリスクを警告

暗号資産市場は急速に進展しており、その規模、構造的脆弱性、伝統的な金融システムとの相互連結性の増加により、グローバルな金融安定に対する脅威になりうる。これが、本日公表された、暗号資産の金融安定に対するリスクに関する金融安定理事会（FSB）の更新された評価である。

本報告書は、暗号資産市場の3つの分野（ビットコインなどの裏付け資産のない暗号資産、ステーブルコイン、分散型金融（DeFi）および暗号資産取引プラットフォーム）に関連する動向とその脆弱性を検証している。本報告書は、これら3つの分野の間には密接で、複雑な、絶えず変化している相互関係があり、金融安定リスクを評価する際には包括的に考慮する必要があると指摘している。

本報告書は、暗号資産市場に関連する多くの脆弱性を強調している。こうした脆弱性には、①暗号資産市場と規制された金融システムとの間の連関の増大、②流動性のミスマッチ、信用リスク、オペレーショナルリスクにより、ステーブルコインが裏付け資産への突然で破壊的な取付け騒ぎの影響を受けやすく、それが短期資金調達市場に波及する可能性があること、③投資戦略におけるレバレッジの利用の増加、④取引プラットフォームの集中リスク、⑤この分野の不透明性と規制監督の欠如などが含まれる。また、暗号資産に対する投資家や消費者の理解の低さ、マネーロンダリング、サイバー犯罪、ランサムウェアなど、暗号資産に関連する公共政策上の幅広い懸念についても指摘している。

本報告書は、金融安定リスクは急速に増大する可能性があるとは指摘し、可能な政策対応を適時かつ先取りして評価するよう求めている。現在、暗号資産の世界の金融システム全体の資産に占める割合は小さく、暗号資産とシステム上重要な金融機関や中核的な金融市場との直接的なつながりは、急速に拡大してはいるものの、依然として限定的である。しかしながら、暗号資産市場の急速な発展と、暗号資産の国境を越えて取引される性質は、規制上のギャップや断片化、規制裁定の可能性を高める。

FSB は、暗号資産市場の動向とリスクを、引き続き監視する。FSB は、関連する金融安定への脅威に対処するために、FSB 加盟国・地域が実施した、または実施予定の措置を含め、裏付け資産のない暗号資産がもたらす規制監督上の潜在的な影響を調査する。また、FSB は、いわゆる「グローバル・ステーブルコイン」の規制・監督・監視に関するハイレベルな勧告の効果的な実施を確保するため、規制監督上のアプローチについて、引き続き監視し、情報を共有する。